

「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」を念頭に
行動の具体化に向けた検討を継続します。
～危機管理行動計画(第三版)策定～

- 東海ネーデルランド高潮洪水地域協議会では、我が国最大のゼロメートル地帯である濃尾平野の大規模浸水を想定し、関係機関が連携して行動する際の規範となる危機管理行動計画について検討してまいりました。
- 3月23日(月)に協議会を開催し、より実効性を高めた危機管理行動計画(第三版)を策定しました。今後は、「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」を念頭に、「被害想定」「情報共有」「避難」について、より具体の検討を継続し、「命を守る」対応、「社会経済の壊滅的な被害を回避する」対応に繋がります。
- 東海ネーデルランド高潮洪水地域協議会構成メンバー
委員：大規模浸水への対応に関わる行政(国、県、市町村)、ライフライン
関係機関 47機関
オブザーバー：内閣府、関係県警本部、経済団体等 6機関

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災課長 国村一郎
TEL：052-953-8357 (直)

国土交通省 中部地方整備局 河川部 水災害予報センター長 可児 裕
TEL：052-685-5117 (直)